



平成 26 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 小倉クラッチ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小倉 康宏
 (JASDAQ・コード 6408)
 問合せ先 取締役常務執行役員 河内 正美
 (TEL. 0277-54-7101)

平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異 及び剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ

平成 26 年 5 月 14 日に公表した平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想値と本日公表の決算値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

業績予想値と実績値との差異について

1. 平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異
 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 19,200	百万円 400	百万円 350	百万円 200	円 銭 13.34
今回実績(B)	18,669	572	660	318	21.27
増 減 額(B-A)	△530	172	310	118	
増 減 率(%)	△2.8	43.2	88.7	59.4	
(参考)前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	19,332	415	532	301	20.14

2. 差異の理由

当第 2 四半期連結累計期間の業績は、主に輸送機器関連事業において、アジア圏では、景気減速や政情不安等の影響を受けたものの、日本及び北米が堅調に推移したことにより、売上高は概ね予想通りとなりました。利益面につきましては、為替の円安効果に加え、生産の効率化、経費削減等の改善により、営業利益、経常利益、四半期純利益の全ての利益レベルで当初の予想を上回りました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、現時点では修正を行っておりません。今後の動向を踏まえ、修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

剰余金の配当(中間配当)について

当社は、各期の業績に対応しつつ、将来の利益確保のため内部留保を充実させ、設備投資その他の経営活動資金として有効活用を図り、企業体質を強化して将来的な収益の向上を通して株主の皆様の中・長期的な安定配当の維持に努めることを基本方針としております。

平成27年3月期の配当予想に関しましては、中間配当を未定としておりましたが、経営環境の先行きには依然として不透明感があることから無配とさせていただきます。

なお、期末配当につきましては、今後の業績動向を見極めつつ慎重に検討してまいりますので、未定とさせていただきますことを併せてご報告申し上げます。

※配当予想は次の通りとします。

基準日	1株あたり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
配当予想		—	—
当期実績	0円00銭		
前期実績(平成26年3月期)	0円00銭	10円00銭	10円00銭

以上